

開催日時 12月20日(日) 会場

親里ホッケー場

天候 晴れ

天理大学が8年ぶり21度目の優勝

<決勝戦>

天理大学	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-1 \end{pmatrix}$	1	箕島クラブ
	3	SO	1	

<決勝戦>

天理大学	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-1 \end{pmatrix}$	1	箕島クラブ
	3	SO	1	
	3	PC	1	
	7	シュート	2	

得点	天理→39分福田
	箕島→53分佐々木
戦評	<p>箕島のセンターパスにより試合が開始された。第1Q開始早々、天理大は箕島陣内で試合を優位に進め、箕島DF佐々木のミスを誘い天理大はPCを獲得。しかし、箕島DF小澤の好守備により先制点とはならず。その後も、天理大は巧みなパスワークから箕島陣内へ果敢に攻め込むが、8人で守る箕島DFを崩せない。第2Qも両チーム激しい攻防を続ける。20分に天理大がPCを獲得するが、天理大のミスから得点には至らない。天理大は箕島サークル内へロングボールを打ち込みタッチシュートを狙うがギリギリの所でボールに触れる事が出来ず、得点のチャンスを逃す。それでも攻め続ける天理大は、PCを獲得するが山田の強烈なシュートもゴールポストに当たり得点ならず、両チーム無得点のまま第2Qを折り返す。第3Q、39分に天理大はロングコーナーからサークルイン。GK清水のリバウンドボールをFW福田が見事なダイレクトスイープでゴール左下に決め均衡を破る。第4Q、何とか追いつきたい箕島はロングボールを天理大サークルに入れ込み、攻撃陣を増やして、天理大DFのミスを誘う。そして、53分に箕島はDF佐々木のロングパスから天理大のミスを誘いPCを獲得。それをDF佐々木が狙い澄ましてゴール左下に強烈なヒットシュートで決め同点に追いつき、勝負はシュートアウトへと持ち越された。シュートアウトは天理大が3-1で箕島を制し、8年ぶり21度目の優勝を手にした。</p>

テクニカルオフィサー	馬場治男	ジャッジ	中野典子
アンパイア	成田健一		坂口あすみ
	渡邊道彦		喜多正司

【最終結果】

1位	天理大学	8年ぶり21度目の優勝
2位	箕島クラブ	
3位	山梨学院大学	
	名古屋フラーテル	

【最優秀選手】

黒川大地(天理)